

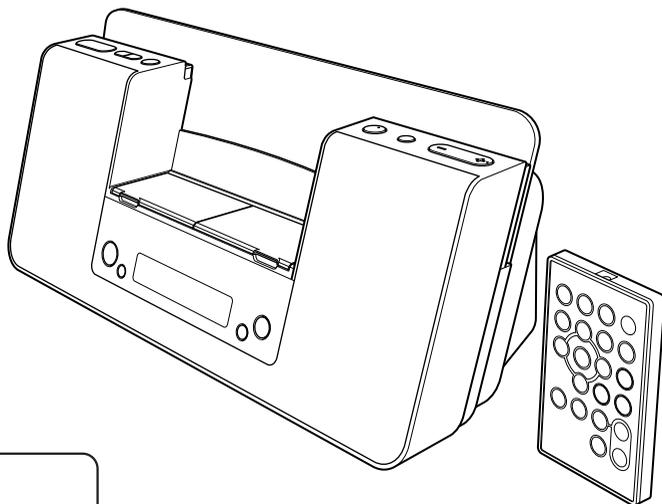


Victor

取扱説明書／保証書

コンパクトコンポーネントシステム

型名 NX-PN10



Made for



iPod



iPhone

デモ表示について

電源プラグを差し込むとデモ表示が自動的に始まります。出ないようにするには、本機の電源が入っている、または切れているとき、本体の [DEMO] を「DEMO OFF」と表示されるまで押します。詳しくは「デモ表示が出ないようにする」(→ 12 ページ) をご覧ください。

－ お買い上げありがとうございます －

⚠ ご使用の前に

この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

特に2～7ページの「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。

そのあと大切に保管し、必要なときにお読みください。



ユーザー登録
のすすめ

お買い上げいただきました製品について「ユーザー登録」をお願いいたします。ご登録いただきますと製品のサポート情報、ビクターの製品情報やイベント情報の提供サービスなどをご利用いただけます。また、今後のよりよい製品開発のためのアンケートにもご協力をお願いいたします。

● 下記アドレスのホームページより、ご登録ください。

<http://www.victor.co.jp/reg/>

安全上のご注意—はじめにお読みください

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示の注意文を無視して、誤った取り扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。



注意

この表示の注意文を無視して、誤った取り扱いをすると、「傷害を負ったり物的損害が想定される」内容を示しています。

絵表示の説明

注意をうながす記号



一般的注意



感電



手を挟まれな
いよう注意

行為を指示する記号



一般的指示



電源プラグ
を抜く

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



水場での
使用禁止



接触禁止



ぬれ手禁止



水ぬれ禁止

警告



電源プラグ
を抜く

万一、次のような異常が発生したときはすぐに使用をやめる。

- ・ 煙が出ていたりへんなにおいがするとき
- ・ 内部に水や異物が入ってしまったとき
- ・ 落としたり、破損したとき
- ・ 電源コードが傷んだとき（芯線の露出や断線など）

すぐに電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。このような異常が発生したまま使用していると、火災や感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

警告



分解禁止

分解や改造をしない、カバーを外さない。

火災や感電の原因となります。内部の点検や修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。



水場での
使用禁止

風呂場やシャワー室では使用しない。

本機の中に水が入ると、火災や感電の原因となります。



本機の上に火のついたものを置かない。

火のついたローソクなどを置くと、火災の原因となります。



本機の中に物を入れない。

通風孔やディスク挿入口などから、金属物や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。



表示された電源電圧(交流100ボルト)以外で使用しない。

表示された電源電圧以外では、火災・感電の原因となります。本機を使用できるのは日本国内のみです。

This set is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.



電源コードを傷つけない。

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。特に、次のことに注意してください。

- ・ 電源コードを加工しない
- ・ 電源コードを無理に曲げない
- ・ 電源コードをねじらない
- ・ 電源コードを引っ張らない
- ・ 電源コードを熱器具に近づけない
- ・ 電源コードの上に家具などの重い物をのせない



電源プラグは根元まで確実に差し込む。

差し込みが不完全だと、発熱したりほこりが付着して火災や感電の原因となります。また、たこ足配線も、コードが熱を持ち危険ですのでしないでください。



電源プラグは定期的に清掃する。

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを乾いた布で取り除いてください。



水ぬれ禁止

本機の上に水などの入った容器を置かない。

花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など水の入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に水が入った場合は、火災や感電の原因となります。

警告



雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない。
感電の原因となります。



本機の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない。
頭からかぶると窒息の原因となります。

注意



電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない。
電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。電源プラグを持って抜いてください。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止



長期間使用しないときは、電源プラグを抜く。

電源が切れているときでも本機には、わずかな電流が流れています。安全および節電のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグ
を抜く



置き場所に注意する。

次のような所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。

- ・ 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる所
- ・ 湿気やほこりの多い所
- ・ 熱器具の近くなど高温になる所
- ・ 窓ぎわなど水滴の発生しやすい所



ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない。

バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。



通気孔をふさいだり、風通しの悪い場所で使用しない。

本機の通気孔をふさがしないでください。通気孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。

- ・ あお向けや横倒し、逆さまにしない
- ・ 本棚、押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- ・ テーブルクロスを掛けない
- ・ 本や雑誌などをのせない
- ・ じゅうたんや布団の上に置かない
- ・ 設置するときは、壁などから10cm 以上離す

注意



電源プラグ
を抜く

お手入れをするときは、電源プラグを抜く。

電源が切れているときでも本機には、わずかな電流が流れています。電源プラグがコンセントに接続されていると、感電の原因となることがあります。



電源プラグ
を抜く

移動するときは、接続したコードや電源プラグを抜く。

接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。



電源プラグが容易に抜き差しできる空間を設ける。

- 電源スイッチを切っただけでは機器は電源から完全に遮断されません。完全に遮断するには、電源プラグを抜いてください。
- 機器はコンセントに容易に手が届く位置に設置し、異常が起きた場合すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。



はじめから音量を上げすぎない。

突然大きな音が出て、スピーカーを破損したり、聴力障害の原因となることがあります。電源を切る前に音量(ボリューム)を下げておき、電源が入ってから徐々に上げてください。



3年に一度は内部の清掃を販売店に依頼する。

内部にほこりがたまったまま使用すると、火災の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。



可動部の作動中には無理な操作を加えない。

一つの動作が終了してから、次の操作に移ってください。誤動作や故障の原因となることがあります。



本機の上に重いものを置かない。

テレビなどの重い物や本機からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。



ACアダプターの取り扱いに注意する。

火災や感電の原因になるため、

- 付属のACアダプター以外は使用しないでください。
- 付属のACアダプターを本機以外の機器には使用しないでください。



付属の電源コード以外は使用しない。

火災や感電の原因となることがあります。



付属の電源コードを本機以外には使用しない。

火災や感電の原因となることがあります。

⚠ 注意



電池の取り扱いに注意する。

電池の取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災・けがや周囲を汚す原因となることがあります。次のことに注意してください。

- ・ 指定以外の電池を使用しない
- ・ 電池のプラス(+)とマイナス(-)を間違えない
- ・ 電池のプラス(+)とマイナス(-)をショートさせない
- ・ 新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使用しない
- ・ 種類の違う電池と混ぜて使用しない
- ・ 電池を加熱しない
- ・ 分解しない
- ・ 火や水の中に入れない
- ・ 乾電池・リチウム電池は充電しない
- ・ 長期間使わないときは、電池を取り出しておく

もし、電池が液もれをしてしまったときは、電池ケースについた液をよく拭きとってください。万一、もれた液体が身体についたときは、水でよく洗い流してください。使い終わった電池は、自治体の指示に従って廃棄してください。



リチウム電池を廃棄するときは、電池に絶縁テープ等を張って絶縁し、「所在自治体の指示」に従って廃棄する。

他の金属片等とそのまま一緒に廃棄すると、ショートして発火や破裂の原因となることがあります。



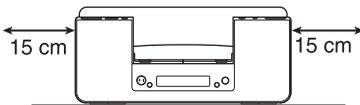
欧州連合のリサイクルマークです。

本機を設置するときは

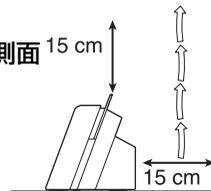
本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。

- ・ あお向けや横倒し、逆さまにしない
- ・ 本箱、押入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- ・ テーブルクロス、新聞、カーテンなどで通風孔をふさがない
- ・ 本や雑誌などをのせない
- ・ じゅうたんや布団の上に置かない

正面



側面



使用上のご注意

本機の置き場所について

故障などを防止するために、次のような場所には置かないでください。

- 湿気やほこりの多い所
- 熱器具の近く
- 風通しの悪い狭い所
- 極端に寒い所
- 他のアンプ、チューナーのそば
- バランスの悪い不安定な所
- OA 機器やけい光灯のすぐそば
- 直射日光の当たる所
- 振動の激しい所
- 磁気を発生する所

ご注意

本機の使用環境温度は、5℃～35℃です。この範囲外の温度で使用すると、正しく動作しなかったり故障の原因となることがあります。

本体の清掃

パネル操作面が汚れたら柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、水で布をしめらすか、中性洗剤を少し布に付けてふき、あとからからぶきしてください。

ご注意

シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げをいためることがあります。

ステレオを聞くときのエチケット

ヘッドホンをご使用になるときは、耳を刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかけられないような音量でお聞きください。

特に、夜は小さな音でも周囲によく通るものです。窓を閉めたりヘッドホンをご使用になるなどお互いに気を配り、快い生活環境を守りましょう。

このマークは音のエチケットのシンボルマークです。



データのお取り扱いについて

- 本機の故障または不測の事態などにより、再生において利用の機会を逸したために発生した損害などの補償については、ご容赦ください。
大切なデータはパソコンなどにバックアップを取っておくことをお勧めします。
- 本機と接続機器間での再生のときに、データの消失または破損が生じた場合の補償はご容赦ください。

もくじ

安全のご注意		外部機器の音声を聞く.....	23
ーはじめにお読みください.....	2	FM 放送を聞く.....	24
はじめに.....	9	・放送局を記憶させる (プリセット).....	25
接続する.....	10	時計 / タイマーを使う.....	26
デモ表示が出ないようにする....	12	時刻を合わせる.....	26
自動的に電源を入れる (モーションセンサー).....	12	お目覚めタイマーを設定する....	26
基本操作.....	13	・お目覚めタイマーを解除する..	28
本体について.....	13	・お目覚めタイマーを 一時停止する(スヌーズ).....	28
リモコンについて.....	15	故障かな?と思ったら.....	29
・表示窓の明るさを変える (ディマー).....	16	保証とアフターサービス.....	30
・消費電力を抑える (エコモード).....	16	主な仕様.....	33
・自動的に電源を切る (おやすみタイマー).....	17		
・音を際立たせる (サウンドターボ).....	17		
・低音/高音を調節する.....	17		
iPod の音楽を聞く /			
映像を見る.....	18		
iPodを接続する.....	19		
iPodを操作する.....	20		
・iPod使用時のご注意.....	22		

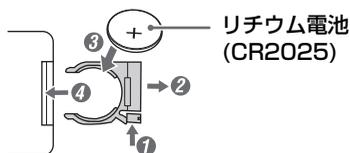
はじめに

- 本書では、主にリモコンのボタンを使って操作説明をします。本体のボタンに同じマークがあるときは、本体のボタンもお使いいただけます。
- 本書の説明で「iPod」と表記しているときは、iPhone と iPod touch を含めます。iPhone と iPod touch を指すときは、「iPhone」「iPod touch」と表記します。

● 電池の入れかた

リチウム電池 (CR2025) の+面を上にして入れます。

リモコン背面



ご注意：

- 電池は、「安全上のご注意」をお読みの上、正しくお取り扱いください。
- 付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池と交換してください。
- 操作範囲が狭くなったり、本体に近づけないと操作できなくなったときには、新しい電池と交換してください。
- 使用済みの電池は、絶縁テープなどを張って絶縁し、「所在自治体の指示」に従って廃棄してください。

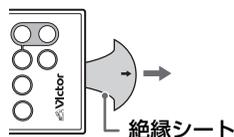
● 付属品の確認

お使いになる前にご確認ください。

- リモコン (1 個)
- リチウム電池 (1 個)
(出荷時にリモコンの中に入っています)
- FM 簡易型アンテナ (1 本)
- 電源コード (1 本)
- AC アダプター: AA-R1002 (1 個)

● リモコンの準備

初めてリモコンを使用するときは、リモコンの絶縁シートを引き抜きます。



ご注意：

- 落としたりぶつけたりなど、リモコンに強い衝撃を与えないでください。

はじめに (つづき)

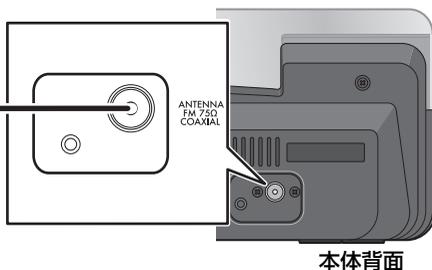
接続する

すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。

● FM アンテナをつなぐ

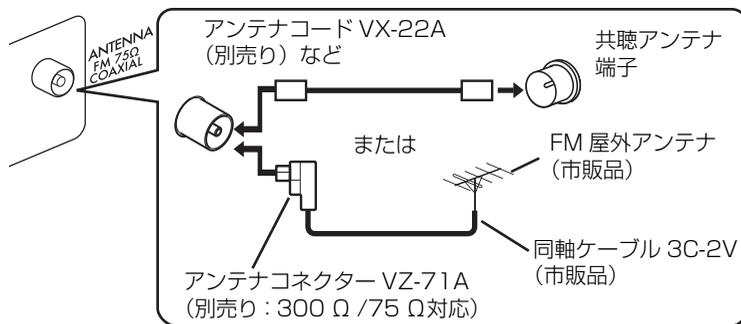
FM簡易型アンテナ
(付属品):

最も受信状態の良い位置
と方向に伸ばしてください。



付属の FM 簡易型アンテナでうまく受信できないときや、マンションなどの壁の共聴アンテナ端子を使うとき

電波状況によっては、FM フィーダーアンテナ CN-511A (別売り: 300 Ω 対応) がご利用できます。このとき、アンテナコネクター VZ-71A (別売り) が必要です。



お知らせ:

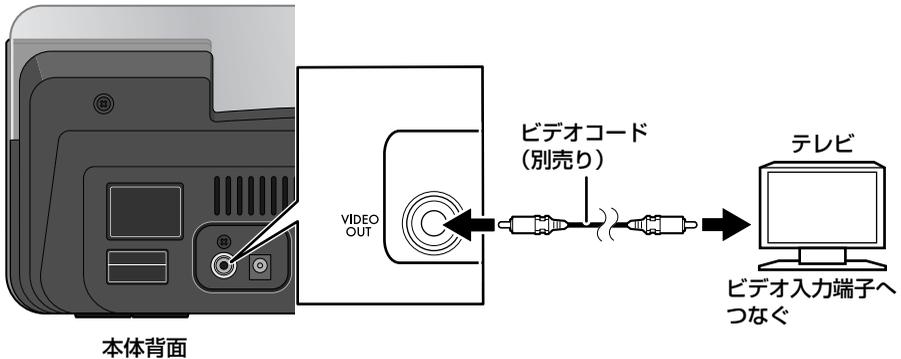
- 付属品以外のアンテナを接続する際の詳細については、アンテナおよびアンテナコネクターの取扱説明書をご覧ください。
- アンテナの設置場所を決めるときは、実際の放送を聞きながら行なってください。
(⇒ 24 ページ「FM 放送を聞く」)
- ケーブルテレビ会社と契約している、マンションの共聴アンテナ端子に本体の FM 端子を接続しているときは、FM 放送局の周波数が通常と異なる場合があります。詳細は、ご契約のケーブルテレビ会社へお問い合わせください。

本機で AM 放送を受信することはできません。

● テレビをつなぐ

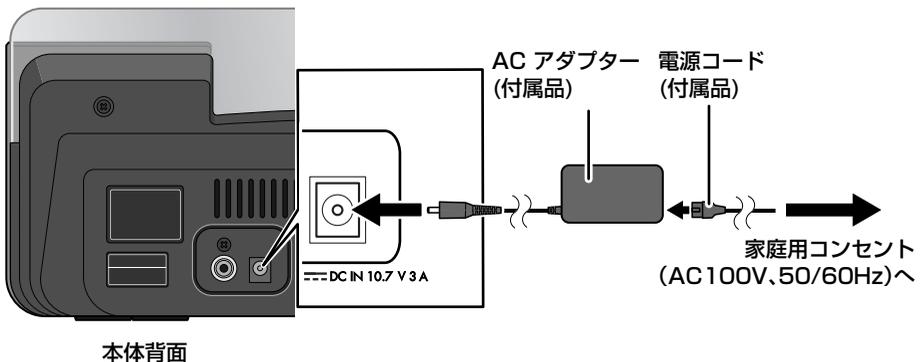
本機の VIDEO OUT 端子とテレビをビデオコード（別売り）で接続すると、本機に接続した iPod の映像を見ることができます。

- テレビの入力切替でビデオ入力を選んでください。詳しくはテレビに付属の取扱説明書をご覧ください。



● 電源プラグをつなぐ

本機、AC アダプター、電源コードの接続が終わってから、電源プラグをコンセントに差し込みます。



デモ表示が出ないようにする

電源プラグをコンセントに接続すると、自動的にデモ表示が始まります。

デモ表示中に、本体のいずれかのボタンを押すと、デモ表示は一時的にとまります。

- 本機の電源が切れているときでも、デモ表示が働きます。
- 2分間何も操作しないと、再びデモ表示が始まります。
- エコモードがオンのときは (→ 16 ページ)、デモ表示は働きません。

● デモ表示を完全にとめるには

本体の  を、「**DEMO OFF**」と表示されるまで押し続ける

- 以後は、電源プラグを抜き差ししてもデモ表示は始まりません。
- もう一度同じ手順を行うと、「DEMO ON」と表示され、再びデモ表示が始まります。

自動的に電源を入れる (モーションセンサー)

本体のモーションセンサー部 (→ 13 ページ) に手や物を近づけると、本機の電源が自動的に入ります。

- 出荷時はオンに設定されています。
- 前回のソース (音源) が iPod または FM 放送のときは、再生または受信を始めます。
- モーションセンサーは、エコモードがオンのときも働きます。

MOTION
SENSOR
本体の  を押す

「* M.S ON」と表示され、モーションセンサーがオンになります。

- 時刻表示中または電源が入っていないときは、「*」と表示されます。
- もう一度同じ手順を行うと、「M.S OFF」と表示され、モーションセンサーがオフになります。

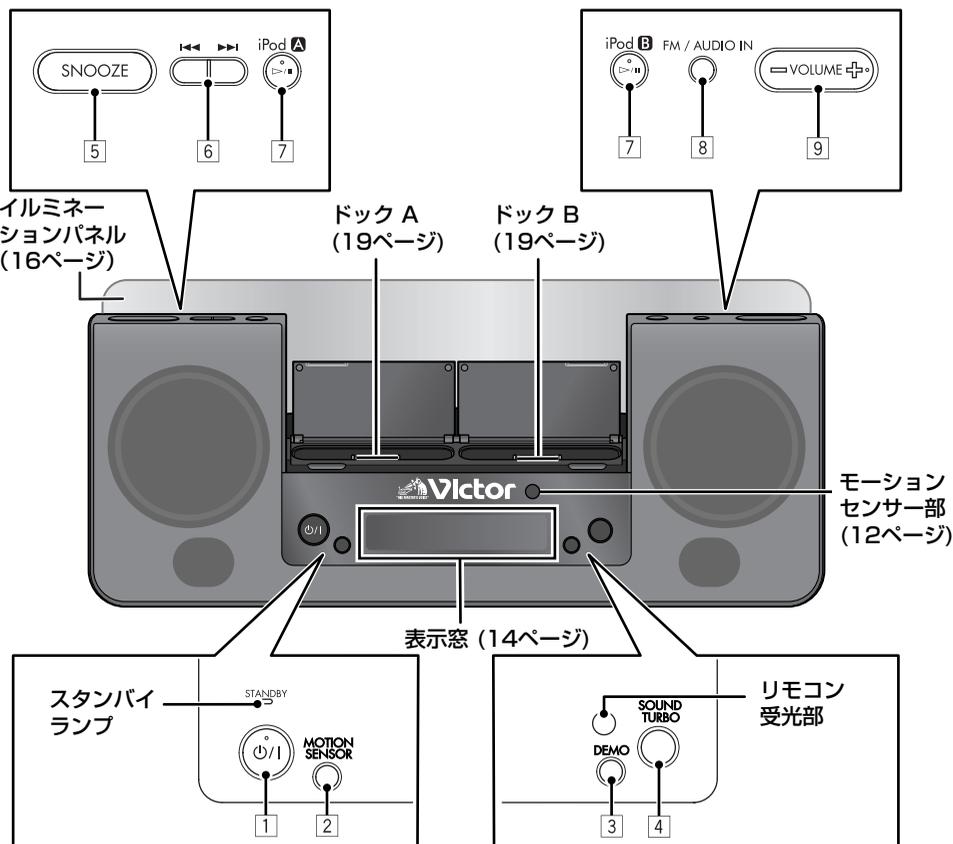
お知らせ：

- 電源コードがはずれていると、モーションセンサーは働きません。
- 誤って本機の電源がオンになるのを防ぐため、次のときはモーションセンサーをオフにしてください。
 - 本機を長期間使用しないとき
 - お目覚めタイマー (→ 26 ページ) を使用するとき
 - 室内で犬、猫などのペットを飼っているとき

基本操作

本体について

本体ボタンの基本操作と表示窓の見かたを説明します。
参照先のページに詳しい説明があります。



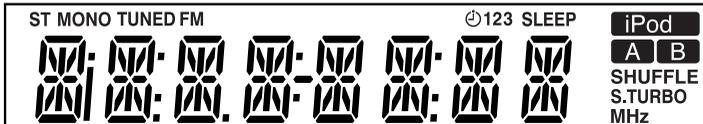
● 本体のボタン

ボタン	操作説明
1	 電源を入れる / 切る (スタンバイランプが点灯します)
2	 モーションセンサーをオン / オフする

基本操作 (つづき)

ボタン		操作説明
3		デモ表示をオン / オフします。(⇒ 12 ページ)
4		音を際立たせます。(サウンドターボ) (⇒ 17 ページ)
5		タイマーのアラーム音を一時停止させ、5 分後に再開させます。(⇒ 28 ページ)
6		<ul style="list-style-type: none"> ソース (音源) が iPod のとき: 押すと、曲の頭出しをします。押しつづけると、早送りまたは早戻しになります。 ソース (音源) が FM のとき: 選局します。
7		<ul style="list-style-type: none"> ソース (音源) を「iPod A」または「iPod B」にします。 iPod を再生 / 一時停止します。
8		ソース (音源) を「FM」(⇒ 24 ページ)、または「AUDIO IN」(⇒ 23 ページ) に 
9		音量を調節します。 • 調節範囲: VOL MIN(0) ~ VOL MAX(30)

● 本体表示窓

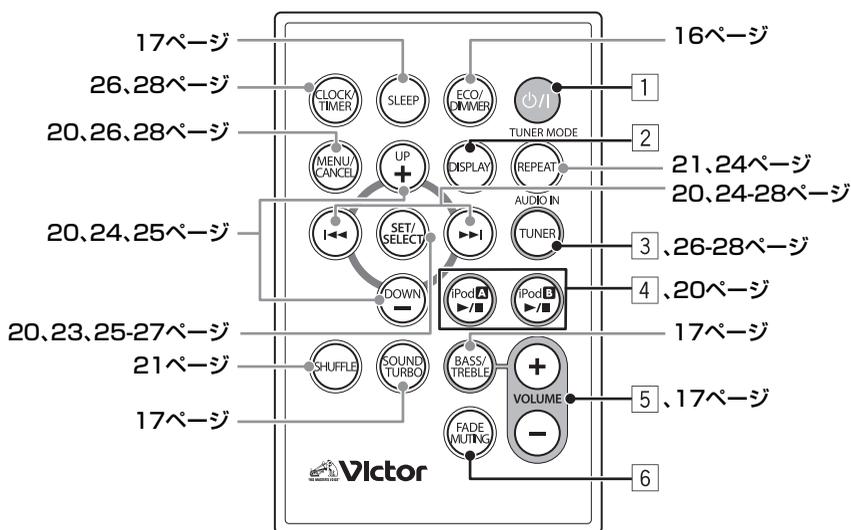


表示	説明
 A	ドック A に iPod が接続されているとき点灯します。
 B	ドック B に iPod が接続されているとき点灯します。
SHUFFLE	iPod A と iPod B のどちらにもシャッフル再生が使われているとき表示されます。(⇒ 21 ページ)
S.TURBO	サウンドターボが働いているとき点灯します。(⇒ 17 ページ)
MHz	FM 放送の周波数を示します。
ST	FM ステレオ放送を受信しているとき点灯します。
MONO	FM 放送をモノラルで受信しているとき点灯します。
TUNED	放送局を受信しているとき点灯します。
FM	ソース (音源) が「FM」のとき点灯します。

表示	説明
🕒 1/2/3	お目覚めタイマーが設定されているとき表示されます。 (⇒ 26 ページ) • タイマー動作中は、点滅します。
SLEEP	おやすみタイマーが設定されているとき点灯します。

リモコンについて

リモコンボタンの基本操作を説明します。参照先のページに詳しい説明があります。



ボタン	主な操作
①	電源を入れる / 切る (スタンバイランプが点灯します)
②	<ul style="list-style-type: none"> 表示窓の情報を切り換えます。 「FM」 のとき 「FM」 以外のとき <ul style="list-style-type: none"> 本体の電源が切れているとき (スタンバイ) 時計 ↔ 曜日

基本操作 (つづき)

ボタン		主な操作
3		ソース (音源) を「FM」または「AUDIO IN」に切り換えます。
4		ソース (音源) を「iPod A」または「iPod B」に切り換えます。
5		音量を調節します。 調節範囲：VOL MIN(音量：0) ~ VOL MAX(30)
6		音を一時的に消します。 • もう一度押すと元の音量に戻ります。

● 表示窓の明るさを変える (ディマー)

表示窓とイルミネーションパネルの明るさを変えることができます。

- 本体の電源を切ると、ディマーはオフになります。

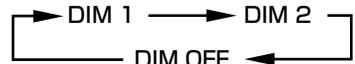
を押す

- 押すごとに次のように切り換わります。

DIM1: 表示窓がやや暗くなります。

DIM2: DIM 1よりも表示窓が暗くなり、イルミネーションパネルが消灯します。

DIM OFF: 表示窓とイルミネーションパネルが点灯します。



● 消費電力を抑える (エコモード)

エコモードをオンにすると、スタンバイ時の時計表示が消え、消費電力を抑えることができます。

- エコモードがオンになっていると、iPod は充電されません。

電源が切れている(スタンバイ)ときに、**を押す**

「ECO ON」と表示され、表示窓の時計が消えます。

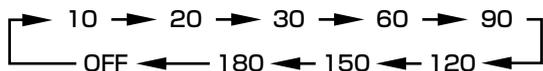
- もう一度同じ手順を行うと、「ECO OFF」と表示され、エコモードがオフになります。

● 自動的に電源を切る（おやすみタイマー）

おやすみタイマーを設定する前に時刻を合わせてください。（⇒ 26 ページ）
設定した時間が経過すると、本機の電源が自動で切れます。

をくり返し押す

• 押すごとに、設定時間(分)が次のように切り替わります。



- タイマー動作中に残り時間を確認するには、[SLEEP]を一回押します。
設定時間を変更するには、[SLEEP]をくり返し押して時間を選び直します。

● 音を際立たせる（サウンドターボ）

音声に力強さを加えることができます。

を押す

「S-TURBO」と表示され、S.TURBO表示が点灯します。

- もう一度同じ手順を行うと、「OFF」と表示され、解除されます。

● 低音 / 高音を調節する

低音（BASS）と高音（TREBLE）の調節をします。

1 をくり返し押して項目を選ぶ

- 押すごとに次のように切り替わります。



2 または を押して調節する

- 調節範囲：-5～+5

iPod の音楽を聞く / 映像を見る

■ 対応する iPod モデル

iPod モデル	音楽	画像
iPod nano 1GB/2GB/4GB	○	—
iPod nano (第2世代) 2GB/4GB/8GB	○	—
iPod nano (第3世代) 4GB/8GB	○	○
iPod nano (第4世代) 8GB/16GB	○	○
iPod mini 4GB	○	—
iPod mini (第2世代) 4GB/ 6GB	○	—
iPod (第4世代) 20GB/40GB	○	—
iPod photo (第4世代) 20GB/30GB/40GB/60GB	○	○*
iPod video (第5世代) 30GB/60GB/80GB	○	○
iPod classic 80GB/120GB/160GB	○	○
iPod touch 8GB/16GB/32GB	○	○
iPod touch (第2世代) 8GB/16GB/32GB	○	○
iPhone (3G) 4GB/8GB/16GB	○	○
iPhone (3GS) 16GB/32GB	○	○

* 静止画のみの再生になります。

iPod が正しく再生されないときは、iPod の最新版ソフトウェアをダウンロードし、アップデートしてください。

- iPod について詳しくは、アップル社のウェブサイトをご覧ください。<<http://www.apple.com/jp/>>

- “Made for iPod”, “Made for iPhone” とは、それぞれ iPod、iPhone 専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパーによって認定された電子アクセサリーであることを示します。アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。
- iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, iPod touch は米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- “Made for iPod” and “Made for iPhone” mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.
- iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

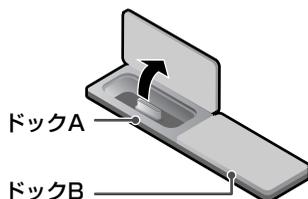
iPod を接続する

iPod をドック A またはドック B に接続します。

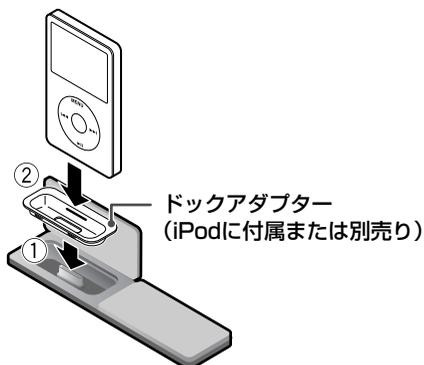
2 台の iPod を同時に接続し、音楽や映像を楽しめます。

- 本体の電源を入れたまま、iPod を抜き差ししないでください。

1.



2.



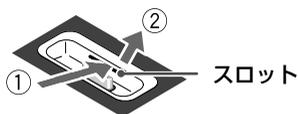
お知らせ:

- iPod を抜き差しするときは、コネクタピンを傷つけないよう気をつけてください。
- iPod を接続しないときは、ドックのカバーを閉じてください。

■ ドックアダプターを iPod 用ドックから取りはずすときは

指の爪や細いものをスロット部にかけて、ドックアダプターを引き上げます。

- ドックアダプターを取りはずすときに、爪を傷つけたり、ドックの端子（コネクタピン）を破損しないよう気をつけてください。



■ iPod の充電について

本機に接続した iPod は、本機の電源が切られていても（スタンバイ時）、充電されます。
(エコモードがオンのときは、充電されません)

- 2 台接続しているときは、両方の iPod を同時に充電できます。
- iPod の充電について詳しくは、iPod の取扱説明書をご覧ください。

iPod の音楽を聞く / 映像を見る (つづき)

iPod を操作する

iPod の取扱説明書も併せてご覧ください。

お知らせ：

- 接続したテレビで iPod の映像を見る前に、iPod の映像出力を正しく設定してください。
- iPhone または iPod touch の接続中に次の操作を行うときは、iPhone や iPod touch で操作します。
 - ホームボタンを押す
 - ホーム画面でアプリケーションアイコンを選び
 - スライダーをドラッグする

ボタン		操作	iPod の操作
本体	リモコン		
iPod A  iPod B 	 	押す： - ソース（音源）として「iPod A」または「iPod B」を選び、再生する - 再生 / 一時停止する 押しつづける * ¹ ：iPod をスリープさせる	
		押す：次の項目へ移動する 押しつづける：早送りする	
		押す：再生中の項目または前の項目の先頭に戻る 押しつづける：早戻しする	
—		押す：前のメニュー / 画面に戻る	MENU* ²
—		メニュー操作を行います。 押す：項目を選ぶ 押しつづける：リストをスクロールさせる。スクロールを止めるには、どちらかのボタンを押します。 <ul style="list-style-type: none"> • iPod のホイール（時計回り / 反時計回り）と同じ働きをします。 • iPhone または iPod touch のときは、ホーム画面で音楽またはビデオのアプリケーションを起動させてから操作します。 	ホイール* ² をクリック
—		押す：選んでいる項目を決定する	センターボタン* ²

*¹ iPhone と iPod touch では、操作ができません。

*² iPhone と iPod touch にはありません。

ボタン		操作	iPod の 操作
本体	リモコン		
—		<p>くり返し押す：ソース（音源）の iPod で好みのシャッフル再生を選ぶ 「SHUFFLE」と表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • iPod のシャッフルアイコンが点灯します。 • 解除するには、シャッフルアイコンが消灯するまで押します。 <p>押しつづける：両方のドックに iPod が接続されているとき、2 台の iPod でシャッフル再生する 「SHUFFLE」と表示され、SHUFFLE 表示が点灯します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 両方の iPod のシャッフルアイコンが点灯します。 • 解除するには、シャッフルアイコンが消灯するまでくり返し押します。 	—
—	TUNER MODE 	<p>くり返し押す：ソース（音源）の iPod で好みのリピート再生を選ぶ 「REPEAT」と表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • iPod のリピートアイコンが点灯します。 • 解除するには、リピートアイコンが消灯するまでくり返し押します。 	—

● iPod 使用時のご注意

本機の故障または不測の事態により、再生などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の補償については、ご容赦ください。

接続の前に：

- iPod を接続するときは、必ず本機の音量を最小にし、本機の電源を切ってください。音量は、再生を始めてから調節してください。
- 本体の電源を入れたまま、iPod を抜き差ししないでください。

接続するときは：

- コネクターピンに直接触ったり、物を当てたりしないでください。破損の原因となります。
- iPod を接続するときは、ドックにしっかりと差し込んでください。
- iPod を接続したあと、操作できるまでに約 3 秒かかります。

iPod を使っているときは：

- iPod を接続したまま本体を移動させないでください。iPod が落下して、破損するおそれがあります。
- iPod のイコライザーを使用していると、録音レベルが高い音を再生したときに音がひずむことがありますので、使用しないことをおすすめします。イコライザーの操作については、iPod の取扱説明書をご覧ください。
- 本体またはリモコンで iPod が操作できないときは、iPod 側で操作してください。

使い終わったら：

- iPod を使用しないときは、本体から取りはずしてください。
- ドックのカバーを閉じるときは、ドックアダプターを取りはずしてください。

外部機器の音声を聞く

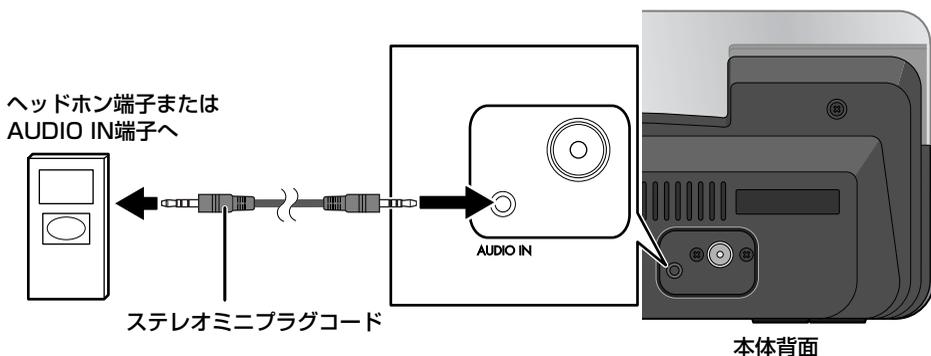
● 外部機器を接続する

ステレオミニプラグコード（別売り）を外部機器の音声出力端子（ヘッドホン端子など）に接続させることにより、ポータブルオーディオプレーヤーなどの外部機器の音声を聞くことができます。

- 接続した機器に付属の取扱説明書も、併せてご覧ください。

お知らせ：

外部機器を接続したり、取りはずしたりするときは、本機の電源を切ってください。



● 外部機器の音声を聞く

1 をくり返し押し押しして「AUDIO IN」を選ぶ

- 押すごとに次のように切り替わります。



2 接続した機器の再生を始める

● 音声入力レベルを設定する

外部機器からの入力音声が小さすぎる場合、音声入力レベルを変更し、他のソース（音源）と音量を合わせることができます。

1 ソース(音源)を「AUDIO IN」にする

2 入力レベルが表示されるまで、 を押し続ける

- 押すごとに次のように切り替わります。

数値が大きくなると、入力レベルが大きくなります。



- お買い上げ時は「LEVEL 1」に設定されています。

FM 放送を聞く

● 基本操作

ボタン		操作
本体	リモコン	
FM / AUDIO IN 	AUDIO IN TUNER 	<p>押す：ソース（音源）として「FM」を選ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> 押すごとに次のように切り換わります。  <p>放送を受信すると、TUNED 表示が点灯します。 ステレオ放送を受信すると、ST 表示が点灯します。 (受信状態が良い場合)</p>
		<p>押す：周波数を選ぶ</p> <p>押しつづけたあと、はなす：選局が始まり、放送を受信すると止まる</p> <ul style="list-style-type: none"> 選局をやめるには、もう一度押します。
—	 	<p>くり返し押す：プリセット番号を選ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> 押すごとに番号が切り換わります。プリセットについては、25 ページをご覧ください。
—	TUNER MODE REPEAT 	<p>FM ステレオ放送が聞きにくいとき、ステレオ効果を消して、音声を聞きやすくします。</p> <p>押す：FM モードを切換える</p> <ul style="list-style-type: none"> 押すごとに次のように切り換わります。 <p>モノラル：MONO 表示が点灯し、ステレオ効果が消えます。 ステレオ：MONO 表示が消灯し、ST 表示が点灯します。</p>

本機は AM 放送には対応していません。

● 放送局を記憶させる（プリセット）

FM 放送を最大 30 局まで記憶させることができます。

1 を押して「FM」を選ぶ

2 またはを押して、記憶させたい放送局を受信する

• FMモードも記憶させることができます。

3 を押す

表示窓に「SET」と点滅表示され、プリセット番号を入力できるようになります。

• 以下の手順の途中で、「SET」の点滅表示が消えてしまったときは、手順3からやり直してください。

4 「SET」点滅中に、またはを押して、記憶先の番号を選ぶ

• 記憶先の番号に、すでに放送局が記憶されていたときは、新しい放送局が記憶され、前の放送局は消去されます。

• 途中でやめるときは、「SET」の点滅表示が消えるまで待ちます。

5 「SET」点滅中に、を押す

「STORED」と表示され、手順4で選んだ番号に放送局が記憶されました。

お知らせ：

- 電源コードを抜いたり、停電などで電源が切れた場合は、記憶させたプリセット番号が消えることがあります。

時計 / タイマーを使う

時刻を合わせる

お目覚めタイマーとおやすみタイマーを設定する前に、時刻合わせが必要です。

- 電源が切れていて（スタンバイ時）も時計を合わせることができます。
- 電源コードを抜いたり、停電で電源が切れた場合は、時計は「0:00」に戻ります。時計を合わせ直してください。

1 を押す

「ADJCLOCK」と表示され、「時」が点滅します。

- 時計を合わせ直す場合は、[CLOCK/TIMER]を2回押してください。
- 操作の途中で[CLOCK/TIMER]を押すと、操作はキャンセルされます。

2 またはを押して表示を合わせ、を押して決定する

「時」→「分」→「曜日」の順に、くり返し行ないます。

「曜日」を合わせて[SET]を押すと、「CLOCK OK」と表示され時計が動き始めます。

- 途中で入力をやり直したいときは、[MENU/CANCEL]を押してひとつ前の手順に戻ることができます。

お目覚めタイマーを設定する

お目覚めタイマーを使うと、お好みの音楽を設定した時間に再生させることができます。

- 本機の電源がオンのときは、タイマーは動作しません。タイマーを使うときは、あらかじめモーションセンサーをオフにすることをおすすめします。(→ 12 ページ)
- iPod や外部機器を使うときは、あらかじめ本機に接続しておいてください。(→ 18 ページ、23 ページ)
- お目覚めタイマーは、電源が切れていて（スタンバイ時）も設定できます。
- [MENU/CANCEL] を押すと、ひとつ前の手順に戻ることができます。
- お目覚めタイマーが働いてから 2 時間後に、本機の電源は自動的に切れます。

1 を押す

「TIMER 1/2/3」のいずれかが表示されます。

- 押すごとに次のように切り替わります。
- 操作の途中で[CLOCK/TIMER]を押すと、タイマー設定はキャンセルされます。



2 またはを押して、タイマーの設定先を選ぶ

- 押すごとに次のように切り替わります。

3 を押す

「WEEKLY」または「ONCE」と表示されます。



4 または を押して、タイマーのくり返しの種類を選ぶ

- 押すごとに「WEEKLY」と「ONCE」に切り替わります。
WEEKLY: 週の同じ曜日、平日のみ、毎日など、くり返し動作します。
ONCE: 選んだ曜日に一度だけ動作します。
- 「ONCE」を選んだタイマーは、一度働くと解除されます。再度使うときは、28ページの「お目覚めタイマーを有効にするには」をご覧ください。

5 を押す

曜日が表示されます。

6 または を押して、タイマーの動作を選ぶ

手順4で選んだ動作を設定します。

- 押すごとに次のように切り替わります。

「WEEKLY」を選んだとき:

SUN DAY (日) → MON DAY (月) → TUE DAY (火) →
WED DAY (水) → THU DAY (木) → FRI DAY (金) →
SAT DAY (土) → MON-FRI (月～金) → MON-SAT (月～土) →
EVERYDAY (毎日) → (最初に戻る)

「ONCE」を選んだとき:

SUN DAY (日) → MON DAY (月) → TUE DAY (火) →
WED DAY (水) → THU DAY (木) → FRI DAY (金) →
SAT DAY (土) → (最初に戻る)

7 を押す

タイマー時刻の「時」の表示が点滅します。

8 または を押して表示を選び、 を押して決定する

- ① 開始時刻の「時」と「分」を設定する
- ② 再生するソース(音源)*を選ぶ(「iPod A」、「iPod B」、「FM」または「AUDIO IN」)
- ③ 音量を設定する

「SET/SELECT」を押すと、「SET OK」と表示され設定が終了し、表示と設定したタイマー番号が点灯します

*ソース(音源)で「FM-」を選んだときは、プリセット番号(➡25ページ)も選びます。

9 を押して、本機の電源を切る

- お目覚めタイマーは、本機の電源が切れているとき(スタンバイ時)に動作します。

時計・タイマーを使う（つづき）

● お目覚めタイマーを解除する

1 を押す

2 またはを押して、解除したいタイマーの設定(TIMER1、TIMER2またはTIMER3)を選ぶ

3 を押す

「CANCEL」と表示され、とタイマー番号が消灯します。

お知らせ：

- お目覚めタイマーを解除しても、タイマーの設定内容は記憶されます。

■ お目覚めタイマーを有効にするには

上の手順3で、「SET OK」と表示されるまで [SET/SELECT] をくりかえし押します。
とタイマー番号が点灯します。

● お目覚めタイマーを一時停止する（スヌーズ）

スヌーズを使うことで、お目覚めタイマーの再生音を一度停止させ、5分後に再開させることができます。

再生音が聞こえているときに、を押す

電源が切れて、表示窓に「SNOOZE」と点滅表示されます。

- スヌーズは10回まで働きます。それ以降は、お目覚めタイマーが解除されます。

お知らせ：

- お目覚めタイマー動作後3分以内に、[SNOOZE]を押さなかったときは、スヌーズは働きません。
- お目覚めタイマー動作中に電源ボタンを押して電源を切ったときは、スヌーズは働きません。

故障かな?と思ったら

修理を依頼する前に、もう一度お確かめください。

ビクターホームページ (<http://www.victor.co.jp/>) から最新の製品 Q&A 情報をご覧ください。ただけです。サービス窓口にご相談になる前に、下記の項目をご確認ください。

■ 共通

電源が入らない。

⇒ 電源プラグをしっかりと差し込みます。

電源が勝手に入る。

⇒ モーションセンサーがオンになっています。

操作の途中で、設定が取り消されてしまう。

⇒ 操作には時間制限があるものがあります。もう一度やり直してください。

操作できない。

⇒ 一度電源プラグをコンセントから抜き、しばらく待ってから接続し直してください。

iPod の映像をテレビで見ることができない。

⇒ ビデオコードをしっかりと差し込んでください。

⇒ テレビの入力モードをビデオ入力に切り換えてください。詳しくはテレビに付属の取扱説明書をご覧ください。

リモコンで本体を操作できない。

⇒ リモコンと本体の受光部との間を遮らないようにしてください。

⇒ 本体の正面に向けてリモコンを操作してください。

⇒ 本体に近づいてリモコンの操作をしてください。

⇒ 新しい電池に交換してください。

⇒ 絶縁シートをはずしてください。

本体の電源が突然切れる。

⇒ お目覚めタイマー動作後 2 時間すると、電源が自動的に切れます。

■ iPod の操作

iPod A または iPod B 表示が点灯しているのに、操作できない。

⇒ iPod の充電が不足しています。接続したまま 10 分ほど待ってから操作してください。

iPod への充電ができない。

⇒ エコモードがオンになっています。

■ ラジオの操作

雑音が多く放送が聞きづらい。

⇒ FM アンテナを正しく接続してください。

⇒ FM アンテナを調整し直すか、本体の設置場所を変えてください。

■ タイマーの操作

お目覚めタイマーが作動しない。

⇒ お目覚めタイマーは電源が切れているとき（スタンバイ時）のみ動作します。

⇒ 電源コードを抜いたり、停電で電源が切れて、時計の設定がお買い上げ時の設定に戻る場合があります。時計を設定し直してから、もう一度タイマー設定してください。

タイマーを止めても作動する。

⇒ スヌーズが働いています。

スヌーズが働かない。

⇒ タイマーが作動してから 3 分以内に [SNOOZE] を押さないと、スヌーズは働きません。

保証書

所定事項記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。保証期間はご購入の日より1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

製造打ち切り後8年です。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

保証書

持込修理

品名		オーディオ商品	製造番号	
型名				
お客様	お名前	ふりがな □□□-□□□□		様
	ご住所	電話 () -		
お買い上げ年月日			保証期間	お買い上げ日から
年 月 日			本体	1年間
お買い上げ店		住所・店名・電話		

お客様へのお願い

1. 本書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ販売店名が記載されているかお確かめください。万一記入がない場合は直ちにお買い上げ販売店にお申し出ください。購入日の確認できる書類（シールやレシートなど）の添付でもかまいませんので、大切に保管してください。
2. 製造番号の記載がない場合は、お手数ですが、お買い上げ商品の製品番号をお確かめのうえ、記入をお願い致します。
3. ご贈答品などで、本書記載のお買い上げ販売店に修理がご依頼になれない場合は、最寄りのサービス窓口にご相談ください。
4. ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
5. 本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。

お客様にご記入いただいた保証書は、保証期間中、およびその後の点検・サービス活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。

1. 保証期間中、取扱説明書および本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障した場合は、無償修理または本体部の交換をさせていただきます。その際、当社の判断で再生部品を用いる場合があります。商品と本書をお買い上げの販売店にご持参ご提示のうえ、修理をご依頼ください。
2. 保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または最寄りのサービス窓口にご相談ください。
3. 次のような場合は保証期間内でも有料修理にさせていただきます。
 - (1) 本書のご提示がない場合。
 - (2) 本書に型名、製造番号、お買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ販売店名の記載がない場合。
 - (3) ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
 - (4) お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障および損傷。
 - (5) 火災、地震、風水害、雷その他の天災地変、虫害、塩害、公害ガス害(硫化ガスなど)や異常電圧、指定以外の使用電源(電圧・周波数)による故障および損傷。
 - (6) 不具合の原因が本製品以外(外部要因)による場合。
 - (7) 一般家庭用以外(例えば業務用などへの長時間使用および車輻、船舶への搭載)に使用された場合の故障および損傷。
 - (8) 消耗品(電池など)の消耗。
 - (9) (持込修理対象商品の場合)
持込修理の対象商品を直接メーカーへ送付した場合の送料はお客様負担とさせていただきます。また、出張修理を行なった場合には、出張料はお客様負担とさせていただきます。
 - (10) (出張修理対象商品の場合)
離島および離島に準ずる遠隔地へのお出張修理を行った場合は、出張に要する実費を申し受けます。
 - (11) 不注意、許可なしに行なった修正/改造、あるいは事前承諾を得ずに付加した部品またはインストールしたソフトウェア、ファームウェアが原因となって損傷が発生した場合。
4. この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって日本ビクター(株)およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または別紙のビクターサービス窓口にお問い合わせください。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

お客様の個人情報のお取り扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきましては、日本ビクター株式会社およびビクターグループ関係会社(以下、当社)にて、下記のとおり、お取り扱いいたします。

- お客様の個人情報は、お問い合わせへの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
- お客様の個人情報は、適切に管理し、当社が必要と判断する期間保管させていただきます。
- 次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。
 - ① 上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合。当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的外の使用をさせない措置をとります。
 - ② 法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合。
- お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

主な仕様

アンプ部

実用最大出力 5W + 5W
(JEITA THD 10% / 8 Ω)*

入力端子

AUDIO IN
(φ 3.5 mm ステレオミニ × 1)
500 mV/47 k Ω (LEVEL 1)
315 mV/47 k Ω (LEVEL 2)
125 mV/47 k Ω (LEVEL 3)

AC アダプター (DC IN)
DC 10.7 V ≒ 3 A

iPod 部

iPod 出力電源 DC5V ≒ 500 mA
(各 iPod ドック)
ビデオ出力 コンポジット
(VIDEO OUT)

チューナー部

受信周波数
FM: 76.0 MHz - 90.0 MHz

スピーカー

7 cm × 2、8 Ω

共通

電源 付属の AC アダプター
(AA-R1002)
入力 AC 100 - 240 V
50 Hz/ 60 Hz 1A
出力 DC 10.7 V ≒ 3A
消費電力 18 W (電源入時)
1.5 W 以下 (電源待機時)
0.8 W 以下 (エコモード時)
10 W (電源待機時、
iPod 2台接続時)
寸法 幅 326 mm × 高さ 135 mm
× 奥行き 130 mm
質量 約 1.6 kg

- 本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。
- * は、JEITA (電子情報技術産業協会) の測定法に基づく数値です。

別売りのオプション品

- ・ ステレオミニプラグコード :CN-203A(1.5m)
- ・ アンテナコード :VX-22A(1m)
- ・ アンテナコネクター :VZ-71A(300Ω/75Ω対応)
- ・ FMフィーダーアンテナ :CN-511A(300Ω対応)
(アンテナコネクター VZ-71Aと一緒に使います。)

- 別売りのオプション品は、お買い上げの販売店でお求めください。
部品番号は変更されることがあります。
- この製品の製造時期は本体の背面に表示されています。

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談
ビクターサービスエンジニアリング株式会社

お買い物相談や製品についての全般的なご相談
お客様相談センター

別紙の「ビクターサービス窓口案内」
をご覧ください。



0120 - 2828 - 17

携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は

電話 (045) 450 - 8950

FAX (045) 450 - 2275

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町 3-12

- ご相談窓口におけるお客様の個人情報の取り扱いについては、32ページをご覧ください。
ビクターホームページ <http://www.victor.co.jp/>

日本ビクター株式会社

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町 3-12